区政への質問

一般質問要旨

〈全文は、板橋区議会のホームページに掲載します〉

いわい桐子（共産党）

住宅政策充実を求めて

【質　問】民間住宅への家賃助成実施の検討を。

【区　長】現金給付的な施策を縮小している。家賃助成については慎重な対応を取らざるを得ない。

待機児童解消に向けて

【質　問】①子ども・子育て支援法に基づく事業計画は認可保育園の増設を中心に据えよ。②認可保育園並みの保育が受けられるよう、スマート保育における保育士の有資格者配置基準の引上げを。③これ以上の区立保育園の民営化は行わないことを宣言せよ。

スマート保育の様子

【区　長】①一定程度の認可保育園の建設も進め保育施設のベストミックスを図る。②区の要綱では保育士の配置基準を8割以上としている。安心・安全な保育のため巡回指導などを引き続き行う。③今後も区立園の継続ができない場合は民営保育園の建設を進める。

介護について問う

【質　問】①区の第6期介護保険事業計画では、要支援1、2の方に専門的な支援の保障を。②介護保険料の引上げを行わないよう求める。③認知症で行方不明の家族を捜す人と、保護した施設とを結ぶ仕組みづくりを国に要望せよ。

【区　長】①26年夏に国から示されるガイドラインを踏まえて的確に対応する。②一定程度の引上げはやむを得ない。③他の自治体や警視庁などの関係機関との連携が必要。国への要望も検討していく。

高島平のまちづくりについて

【質　問】グランドデザインの素案策定を住民参加で進めるよう求める。

【区　長】基礎調査と分析、中間のまとめ、素案の各検討段階においては区民へ周知を図る。素案作成後はパブリックコメントなどで意見を聞く機会を設ける。

※以上のほか、子ども・子育て支援法、小学生の放課後のあり方、天津わかしお学校、発達障がい者への支援について質問があった

松崎いたる（共産党）

ホタル生態環境館の疑惑と不正について問う

【質　問】①毎年2万匹のホタルを飼育してきたという報告と生息調査の結果が異なる理由について、いつ回答を示すのか。②年間のホタル飼育過程を具体的に示す資料は提出されていたのか。③外部からホタルの成虫が持ち込まれたのではないかという疑惑があるが、委託業者などを含め調査を進めるべき。④区としても調査委員会を設置すべき。

【区　長】①ホタル飼育の疑問については関係者への調査を進めている。もう少し時間がほしい。②管理日誌により報告されてきたが、元担当者の説明と管理日誌の整合が取れない状況にあるため、説明を求めていく。③現在も調査を進めている。④現在各所管部署において調査を進めている。その結果により、再発防止対策を検討するための庁内組織を立ち上げることも視野に入れている。

憲法と平和について問う

【質　問】①集団的自衛権の行使容認についての区長の見解は。②憲法の原則にかかわる内閣の解釈改憲に対し抗議を表明すべき。

【区　長】①国家の防衛施策の根幹にかかわる重要な事項であるため、平和都市宣言を行っている自治体の長として政府の動きを注視する。②憲法の三大原則は解釈により変えられるものではないと考える。国会で十分な審議が行われるよう見守る。

脱原発に向けて

【質　問】①原発再稼働にストップをかけた福井地裁の判決をどう受け止めたか。②政府や東京電力㈱に原発依存をゼロにすることを求めるべき。

【区　長】①関西電力㈱が名古屋高裁に控訴しているため、判決についての見解は差し控える。②電源構成にかかる依存度などエネルギー施策については、今後も様々な議論を経て国が示すものと考える。

※以上のほか、消費税増税、国民健康保険事業、教育行政の課題、防災、区内の交通環境について質問があった

五十嵐やす子（市民）

愛ある限り平和を、人ある限り人権を

【質　問】①平和都市宣言をしている区は、職員に対し「平和」実現のためどのように指導、啓発しているのか。また、恒久平和の理念をどのように伝え共有しているのか。②民生委員が受講する「人権」関連の講習項目にDVを加えてはどうか。

【区　長】①中学生平和の旅など平和都市宣言記念事業を通し、平和の尊さに対する理解を深めるよう日頃から取り組んでいる。今後とも様々な機会をとらえて職員の平和意識の醸成に努めていく。②DV被害者の相談に対し適切に関係行政機関につなげられるよう、研修などの機会を通じて情報提供していく。

※以上のほか、新あいキッズ事業、HPVワクチンについて質問があった

長瀬達也（市民）

サッカー団体支援とサッカー場の整備について

【質　問】区内サッカー場の少なさ、野球団体によるグラウンド優先使用など、サッカー団体への支援が十分でないと考えるが、区の考えは。

【区　長】現在、城北野球場ほか2か所を試行的にサッカー利用できるようにしている。サッカー場の整備は、財政状況などの課題を整理し、検討していく。

荒川戸田橋サッカー場での試合の様子

災害時の医療連携について

【質　問】災害時に区と各診療所の情報伝達をスムーズに行う必要があるが、その具体的方法は。

【区　長】具体的な情報連携の方法については、医師会と協議し、構築していく。

※以上のほか、板橋区におけるまちづくりと規制、いたばし区民まつりについて質問があった

橋本祐幸（市民）

まちづくり対策について問う

【質　問】①JR板橋駅西口地区市街地再開発事業の進捗状況は。②大山ハッピーロード西地区市街地再開発事業の進捗状況は。③都道補助26号の進捗状況と今後の見通しは。④東武東上線立体化を促進すべきと考えるが、区の見解は。

【区　長】①25年9月に結成された地区内権利者による準備組合が事業実施に向け活動している。②地区内権利者による準備組合を設立する準備が進行中である。③都では、32年度の完成を目指し、26年度末までに事業認可を取得予定である。④区内の東武東上線の連続立体化は区の悲願であり、早期実現に向け都や関係機関、関係団体に対し積極的に働きかけていく。

※以上のほか、保育行政、高齢者対策について質問があった

中妻じょうた（民主党・無）

実践的な英語教育を求めて

【質　問】「語学はフィジカルトレーニング」という基本理解のもとに、繰り返しのオーラル・トレーニングを中心とした英語教育が必要と考えるが、教育委員会の見解は。

【教育長】オーラル・トレーニングは、音声面を中心に実践的な英語を身につける有効な手段と認識している。ALT（外国語指導助手）の活用・充実を通して、実践的な英語力を身につけることができる授業の実現をめざしていく。

高島平地域グランドデザインについて問う

【質　問】区の考える高島平団地のあるべき姿や将来ビジョンを現実のものとするには独立行政法人都市再生機構（UR）の協力が不可欠だが、今後のURとの交渉方針は。

【区　長】URとは、23年6月に包括的な連携協定を締結した。これまでも連携協定を足がかりに、区の課題解決に向けた協議を進めてきている。今後は、グランドデザインの策定作業と並行し、より一層、協議の頻度や内容を高め、区が描く内容とのすり合わせを行っていく。

※以上のほか、絶対高さ・最低敷地面積制限、ホタル生態環境館、障がい児・者福祉、区長の情報発信、地域課題について質問があった

おなだか勝（民主党・無）

新あいキッズについて問う

【質　問】①受託法人の自主的な指導員加配への補助は。②あいキッズがよりよい方向に向かうためにも事業者連絡会を夏休み前に開催し、今後も定期的に開催してはどうか。

【教育長】①法人が配置基準以上の人員を自主的に配置する場合や活動拠点を拡大した場合、加配分の人員配置については委託料の範囲内で認めている。②26年度よりあいキ